

カードゲームで学ぶSDGs講座 開催しました！



- 日時 令和元年10月17日（木）
- 会場 香川大学研究交流棟6F 第一講義室
- 講師 株式会社ONDO代表取締役 谷 益美 氏

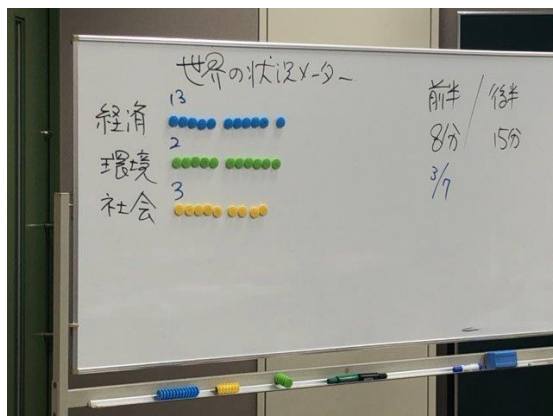
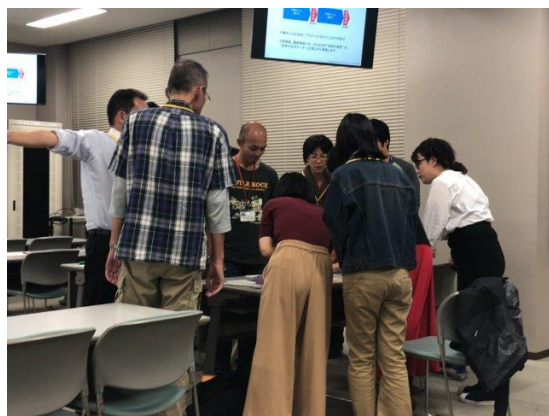
10月17日（木）、香川大学研究交流棟にて、ビジネスコーチ、ファシリテーターとして活躍されている 谷 益美氏 を講師に迎え、「カードゲームで学ぶSDGs講座」を開催しました。社会人、学生含む計14名が参加しました。

「SDGs」とは、国連加盟国193か国が2016年～2030年の15年間で達成する行動計画です。2030年に向けた17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。今回はゴール14「海の豊かさを守ろう」に焦点を当て、講座開催しました。SDGsの浸透度は、世界各国の中ではベトナムが非常に高く、日本は16%程度に留まっているのが現状です。

まず、「SDGs」に対する理解度を、チームに分かれて共有しました。その後、カードゲームの実践を行いました。



このカードゲームは「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するためのゲームです。



ゲーム終了後、ゲーム体験を振り返り、全員で共有しました。

「前半は自分のチームの為に動いていたが、後半については世界状況を見ながら動くことができた」「様々な方と交流することができて良かった」「里海づくりもSDGsもいろんな仲間を増やしていくことは共通だと感じた」等の声がありました。

「SDGs」という言葉は、日本ではまだまだ聞きなれない言葉ではありますが、小規模のカードゲームであるからこそ私たちがより具体的に実感できる事が多くあり、日常では感じる事のない「気づき」を得ることができるのではないかと思える講座となりました。